

はいどころじょう
丹波焼 坏土工場 見学資料

丹波焼に使用する粘土はすべて坏土工場で生産され、窯元に供給されています

<p>順路1 原土置場 げんどおきば</p>  <p>丹波焼の陶土（原土）は、四ツ辻粘土（三田市四ツ辻の山土）、弁天黒土（JR 篠山口駅周辺の田土）を採土して使用しています。</p>	<p>順路2 粉碎機・攪拌機 ふんさいき・かくはんき</p>   <p>原土を細かく砕き、水を加えてさらに細かく、泥状にします。</p>	<p>順路3 振動篩 しんどうふるい</p>  <p>3層のこし網を使い、振動させ泥から不純物を取り除きます。</p>
<p>順路4 沈殿槽 ちんでんそう</p>  <p>泥を沈殿させます。粘土質の泥は下に沈み、上水はポンプで汲み上げ再利用します。</p>	<p>順路5 ダイヤフラムポンプ だいやふらむぼんぷ</p>  <p>沈殿槽から送られた泥状の粘土を汲み上げプレス機に送ります。</p>	<p>順路6 フィルタープレス ふいるたーぶれす</p>  <p>泥状の粘土を圧力をかけて絞り、余分な水分を脱水し、適当な固さの粘土の板を作ります。</p>
<p>順路7 混練機 こんれんき</p>  <p>プレスされた粘土を混ぜ合わせ、適度な硬さの粘土を作ります。</p>	<p>順路8 丹波焼粘土 たんばやきねんど</p>  <p>ひとつの重さは 15Kg。窯元に供給され、丹波焼に生まれ変わります。</p>	<p style="text-align: center;">坏土工場 はいどころじょう</p>  <p>丹波焼は日本六古窯の一つに数えられ、800年以上の歴史があります。丹波焼で使用される粘土はここで製造され、窯元に供給されます。</p>

丹波立杭陶磁器協同組合坏土工場：昭和 38 年に建設され、平成 6 年に増築されました。

住所：丹波篠山市今田町字一ノ木谷 1 番 7